

札幌交響楽団名寄公演2026

2026 **9/5** **土**

開演 17:00
(開場 16:30)

名寄市民文化センター 大ホール **EN-RAYホール**
(名寄市西13条南4丁目2)

指揮
佐藤 俊太郎
Shuntaro SATO, conductor

管弦楽
札幌交響楽団
Sapporo Symphony Orchestra

ワーグナー
ジークフリート牧歌

エルガー
弦楽のためのセレナード
ホ短調op.20

モーツァルト
交響曲第41番 ハ長調K.551
「ジュピター」



チケット料金(全席指定・各税込)

- 一般 **3,500円**(当日4,000円)
- 高校生以下 **1,000円**(当日1,500円)

※未就学児は入場不可。 ※ご購入方法によって手数料などが加算されます。
※車椅子席はEN-RAYホールチケットセンターにお問い合わせください。
※やむを得ない事情により公演内容の一部が変更となる場合がございます。
主催者による公演中止の場合を除き、お求めのチケットの払戻しはいたしかねます。
※「札幌鑑賞約款」(sso.or.jp/viewpolicy)をあらかじめご確認ください。

チケット販売

- EN-RAYホールチケットセンター ☎01654-3-3333
- ローチケ(Lコード:12094)

EN-RAY倶楽部会員限定割引対象公演

Yoroca利用可

※会員は1枚に限り、前売り価格より一般400円引き／高校生以下100円引き
※購入時には会員証をご提示下さい

お問い合わせ

- EN-RAYホールチケットセンター: ☎01654-3-3333(休館日7/31、8/31)
- 札幌交響楽団: www.sso.or.jp ☎011-520-1771(平日9:30~18:00、土・日・祝定休、月曜不定休)

主催 / 名寄市教育委員会、名寄市民館、なよろ舞台芸術劇場実行委員会
札幌交響楽団、北海道新聞社

協賛 /  **北星信用金庫**

助成 /  文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
札幌市 | 独立行政法人日本芸術文化振興会



北海道新聞社は札幌交響楽団を応援しています

札幌交響楽団 名寄公演 2026

2026年9月5日(土)



指揮／佐藤 俊太郎

Shuntaro SATO, conductor

1972年仙台生まれ。5歳からヴァイオリンを始める。1991年に渡英しロンドン大学と王立音楽院で学ぶ。在学中にオーケストラを結成し2年間に20回あまりの演奏会を企画・運営・指揮し注目を集める。1996年イギリス室内管弦楽団(ECO)定期公演で正式デビュー。この成功によりECOアソシエート・コンダクターに就任し英国及びヨーロッパで数多くの公演を指揮。その後、フィンランド・クオピオ交響楽団指揮者を務めた。



©Higashi Akitoshi

これまでに、ロンドン・フィル、フィルハーモニア管、ヘルシンキ・フィル、フィンランド放送響、オランダ放送響、ボストン室内管、読売日本響、東京フィル、日本フィル、新日本フィル、神奈川フィル、仙台フィル、大阪響、大阪フィル、京都市響、九州響などに客演。また、ズッカーマン、デュメイ、マイスキー、ユジャ・ワン、イザベル・ファウスト、マルティン・ガルシア・ガルシアなど著名アーティストとの共演も数多い。

2003年、母校王立音楽院とエリザベス女王からこれまでの活躍に対して表彰を受け、王立音楽院会員の称号を与えられる。20年をこえるヨーロッパ在住を経て2014年に帰国。海外での活動も続けながら、国内での活動も充実させている。2021年には、アンサンブル・アール・ヴィヴァンを設立し音楽監督を務める。

札幌交響楽団とは、1998年に初共演。2016年4月から2019年3月まで札幌交響楽団指揮者を務めた。北海道内各地での演奏会への客演も多く、EN-RAYホールにも開館年の2015年秋に登場している。

管弦楽／札幌交響楽団

Sapporo Symphony Orchestra

1961年発足。札幌、北海道を拠点に活動し、「札幌」の愛称で親しまれて今年65周年を迎えた。透明感のあるサウンドと表現力は国内はもとより海外でも知られ、近年はパワフルさとスケール感を増し評価を高めている。2人のコンサートマスターを含め70名の楽団員が在籍(2026年6月現在)。オーケストラの演奏会を年間約120回、さらに小編成でのアウトリーチ活動にも積極的に取り組んでいる。海外でもこれまでにヨーロッパ、アメリカ、アジア諸国を訪問し、各地で好評を博した。

歴代指揮者には、名誉創立指揮者の荒谷正雄、ペーター・シュヴァルツ、岩城宏之、秋山和慶、尾高忠明、マックス・ボンマー、マティアス・バーメルト、ラドミル・エリシュカなど連なる。現在、2025年4月首席指揮者就任のエリアス・グランディ、この春から桂冠指揮者となった尾高忠明、友情指揮者の広上淳一、首席客得指揮者の下野竜也、正指揮者の川瀬賢太郎の充実の指揮者陣を擁する。



©Y.Fuji

札幌交響楽団の演奏会については公式ホームページをご覧ください。
X・Facebook・Instagramでも最新情報等を発信中です。

札幌公式キャラクター
“ピリッキー”



お問い合わせ

EN-RAYホールチケットセンター ☎01654-3-3333

札幌交響楽団 ☎011-520-1771 (平日9:30~18:00 土日祝定休、月曜不定休)

公式ホームページ www.sso.or.jp

